政策会議議事概要

日　時：令和８年７月27日（月）９時30分～10時27分

場　所：県庁６階第２特別会議室

出席者：19名

玉城知事、大城副知事、宮城副知事、小川政策調整監、知事公室長、
財政統括監、企画部長、環境部長、生活福祉部長、こども未来部長、
保健医療介護部長、農林水産部長、商工労働部長、文化観光スポーツ部長、
土木建築部長、教育長、病院事業局長、企業局長、県警本部長

報告事項

１　「ワシントン駐在問題に関する調査報告書」について（知事公室）
２　本庁舎（行政棟）改修事業の進捗状況及び移転等協力依頼について（総務部）
３　重点支援地方交付金の更なる活用について（企画部）
４　協力型バスレーン（ゆずり愛バスレーン）の実証実験について（企画部）
５　会議で県産牛乳消費促進キャンペーン【第２弾】～会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう～（学校休止期間における県産牛乳消費拡大）（農林水産部）
６　人手不足対策支援サイト「OASiS（オアシス）」の公開と継続的な情報更新について（商工労働部）
７　第３回沖縄空手世界大会の開催について（文化観光スポーツ部）
８　令和８年上半期中事件・事故発生状況について（県警本部）

知事等の発言

・協力型バスレーンについては、効果が出るような周知方法についての検討を行ってほしい。（玉城知事）

・「OASiS（オアシス）」は、求職者が企業の情報を確認するために見られるようにすれば、こんな企業がこんな人を求めているのだという情報収集ができるのではないだろうか。（玉城知事）

以　上

令和８年７月 27 日

政策会議　提案議題

１　「ワシントン駐在問題に関する調査報告書」について

（知事公室）・・・Ｐ１

２　本庁舎（行政棟）改修事業の進捗状況及び移転等協力依頼について

（総務部）・・・Ｐ２

３　重点支援地方交付金の更なる活用について　（企画部）・・・Ｐ６

４　協力型バスレーン（ゆずり愛バスレーン）の実証実験について

（企画部）・・・Ｐ９

５　会議で県産牛乳消費促進キャンペーン【第２弾】

～会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう～

（学校休止期間における県産牛乳消費拡大）

（農林水産部）・・・P13

６　人手不足対策支援サイト「OASiS（オアシス）」の公開と

継続的な情報更新について　（商工労働部）・・・P16

７　第３回沖縄空手世界大会の開催について

（文化観光スポーツ部）・・・P19

８　令和８年上半期中事件・事故発生状況について

（県警本部）・・・P22

意見交換事項等

所管部局：知事公室

件名	「ワシントン駐在問題に関する調査報告書」について
内容	【経緯・現状】 地方自治法第 100 条第１項に基づき設置されたワシントン駐在問題調査特別委員会（以下「百条委員会」という。）は、令和８年７月 13 日付けで議会に「ワシントン駐在問題に関する調査報告書」を提出した。 【報告書の要旨】 調査結果として、法人設立の意思決定に係る文書が作成されていないこと、出資法人の経営状況の議会への報告など法定の手続がなされていなかったこと等が挙げられている。 要因としては、事前の検討不足、組織体制の不備、駐在職員の職務権限や指揮命令系統等の認識不足、関係者間の意思疎通の不足等が挙げられている。 その上で、次の４点が述べられている。 １　本問題の把握や解明に県全体として大きな行政コストを生じさせたことを重く受け止めること ２　県は問題の要因等を更に分析し、同様な問題が二度と起こらないよう再発防止に向けた取組を早急に実施すること ３　問題や課題等に関する情報や報告が上位者にもたらされない組織体制であったことを含め、今後の組織の運営・管理監督体制やガバナンスの在り方を検討する必要があること ４　ワシントン駐在問題に関して県民の不信感を招くことがないよう、今後も具体的な形で説明を尽くし、慎重に対処すべきであること 【課題及び対応】 県としては、問題が発現した要因や再発防止について取りまとめた報告書を昨年 11 月に公表し、問題の要因及び教訓については知事のメッセージと併せて庁内で共有し、再発防止を図っている。 報告書の内容を精査し、事実関係に基づき適切に対処する。

意見交換事項等

所管部局：総務部（管財課）

件名	本庁舎（行政棟）改修事業の進捗状況及び移転等協力依頼について
内容	【現状】 本庁舎（行政棟）は、移転と改修を繰り返しながら、全９STEP を約５年かけて段階的に改修する計画である（R12 年度末完了予定）。 現在の STEP1（北棟 14-13 階）の改修は 9 月中旬に完了予定のため、翌 10 月に STEP2（北棟 12-10 階）の改修へ移行する予定である。 【STEP2（北棟 12-10 階）改修への移行フロー】 ① 9 月中旬～下旬：仮移転先へ新規什器搬入（管財課） ②10 月初旬：土木建築部・農林水産部（北棟 11-9 階）が仮移転 ※具体的な仮移転先は別紙参照。 ③10 月中旬～下旬：北棟 11-9 階の産業廃棄物処分（管財課） ④10 月下旬：STEP2 の改修工事開始 **【円滑な改修に向けた全庁的な理解と協力体制】** **１　事前準備の徹底** ⑴ ペーパーレスの推進と文書整理 改修後の執務室は、課を仕切る書庫の撤去により文書保管スペースが減少する。ペーパーレス・ストックレスを進め、過去文書の整理（引継、廃棄）等、事前準備を徹底されたい。 ※公文書の整理にあたっては、公文書管理条例を遵守すること。 ⑵ 不用品の処分 管財課にて不用品の集約・一括廃棄をサポートしているので、執務室、会議室、倉庫等の不用品の整理を進めていただきたい。 **２　移転時期における制約** 議会や年度末などの繁忙期と移転時期が一部重なる場合もあるが、全体工期の関係上、移転時期の変更は困難なため、事前準備の徹底をお願いしたい。 ※質問通告日など特別な場合は事前に日程調整を行う。

	3　改修後のフロアレイアウト ⑴ 改修後の執務室は、職員間のコミュニケーションの促進、多様な働き方、各部局の特性やニーズに応じた執務環境を整備する。 ⑵　引き続き部局ヒアリングを通して、各部局の意見や要望を踏まえたレイアウト、什器を提案するので、部局内で活発な意見交換、提案をお願いしたい。

本庁舎（行政棟）改修スケジュール（STEP1-２抜粋）　※全9STEP

凡例　工事期間　移転期間　工事階　緩衝階　改修完了

騒音対策のため移転

R8												R9				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
	STEP1									STEP2						

移転期間：１ヶ月

階	北棟		南棟
14	1工区		
13	2工区		仮移転先
12	緩衝階		
11			
10			
9			
8			
7			
6			
5		4F講堂	
4			仮移転先
3			
2	仮移転先		仮移転先
1			
B1	3工区 / 仮移転先（食堂跡）		
B2	3工区		

階	北棟		南棟
14	仮移転先		
13	仮移転先		仮移転先
12	1工区	仮移転済	
11	2工区		
10	3工区	仮移転	
9	緩衝階		
8			
7			
6			
5		4F講堂	
4			仮移転先
3			
2			仮移転先
1			
B1	3工区 / 仮移転先（食堂跡）		
B2	3工区		

○STEP2の工事・移転対象フロア

工事・移転対象フロア	対象部局	仮移転先
12階北棟	企業局	① 2F南：労働委員会跡（局長室） ② 2F南：監査委員跡（統括監室） ※STEP1の緩衝階のため仮移転済
11階北棟 10階北棟	土木建築部	①13F北：教育庁跡（部三役室） ※改修後フロア ②13F南：教育庁跡
9階北棟	農林水産部	① 2F北：人事委員会跡（部三役室） ② 4F南：病院事業局跡 ③14F北：展望エリア ※改修修フロア ※STEP2の緩衝階のためSTEP3まで仮移転

【 本庁舎（行政棟）改修工事 】STEP2移行スケジュール

日	本庁舎改修	９月議会日程（案）
9/17　木	改修工事検査＆引渡し（14階北＆13階北）	
9/18　金		
9/19　土		
9/20　日		
9/21　月	敬老の日	
9/22　火	国民の休日	
9/23　水	秋分の日	
9/24　木		庁議
9/25　金		
9/26　土		
9/27　日	**9/24-30 新規什器搬入**	
9/28　月		
9/29　火		
9/30　水		
10/1　木	**農林水産部引越日（9F北→2F北、4F南、14F北）**	議案説明会
10/2　金		開会
10/3　土	**土木建築部引越日①（11-10F北→13F北＆南）**	
10/4　日	**土木建築部引越日①（11-10F北→13F北＆南）**	
10/5　月	予備日	
10/6　火	予備日	**代表通告〆切**
10/7　水	予備日	**一般通告〆切**
10/8　木		
10/9　金		代表①
10/10　土		
10/11　日		
10/12　月	スポーツの日	
10/13　火		代表②
10/14　水	**11-9F北：産業廃棄物処分**	一般①
10/15　木	**※再利用できる什器類は県関係部局等へ提供**	常任委員会
10/16　金		特別委員会
10/17　土		
10/18　日		
10/19　月		
10/20　火		
10/21　水		閉会
10/22　木		
10/23　金		
10/24　土		
10/25　日		
10/26　月		**10/22-11/2　決算特別委員会**
10/27　火		
10/28　水	**STEP2工事開始（12-10F北棟）**	
10/29　木		
10/30　金		
10/31　土		

意見交換事項等

所管部局：企画部

件名	重点支援地方交付金の更なる活用について
内容	【経緯・現状】 県では、長引く物価高や中東情勢の影響に対して、令和７年11月補正から令和８年６月補正までの総額で504億円の予算を確保し、様々な分野において県民生活や事業活動に対する支援を行っている。 一方で、６月議会においては、各議員から更なる支援の必要性について指摘があったところ。 【課題】 中東情勢については、６月に米国とイランの間で戦闘終結に関する覚書に署名が交わされたものの、その実効性については不透明感が残っており、引き続き、注視が必要な状況。 また、令和８年５月の消費者物価指数（総合：R2=100）については、沖縄県は116.3、全国は113.5となっており、全国よりも物価上昇率が高い状況が続いていることから、更なる支援の必要性について検討を行う必要がある。 【県の対応等】 国の重点支援地方交付金については、７月10日付けで第２回の実施計画（第１回分含め総額 167.6 億円：次頁）を提出したところであるが、例年の執行率を勘案すれば、残り43.3億円が活用可能な状況となっている。（３頁） また、国の６月補正予算で追加配分された9.6億円については、第３回の実施計画（10月提出予定）での新規追加も認めることとされた。 各部局におかれては、厳しさを増す県民生活や事業活動の状況、６月議会での議論等を踏まえ、 ・既存事業の拡充・延長や新たな分野での支援 ・すでに申込を打ち切った支援の再実施 ・各部局で実施している支援の横展開 などについて検討いただき、９月補正予算の提出など積極的な対応をお願いしたい。

重点交付金 令和８年度第２回実施計画の取りまとめ結果

実施計画計上額　　167.6億円　　（計89事業）

※うち６事業については、不用額圧縮のため、国のR7補正予算/R8補正予算を充当する事業として二重で掲載している。

総務部 （ 計３事業 ） 3.5億円

・公共施設マネジメント推進事業（エネルギー価格高騰対策）（2.3）
・指定管理施設賃上げ促進パッケージ（0.8）
・私立学校等教育振興費（私立学校物価高騰対策支援事業）（0.3）

企画部 （ 計11事業 ） 19.5億円

・小規模離島等航空路線維持事業（物価高騰支援）（9.9）
・交通困難者公共交通利用促進実証事業（2.2）
・沖縄県燃料油激変緩和補助事業（航路）（1.3）　　等

環境部 （ 計１事業 ） 1.3億円

・省エネ家電購入支援事業（1.3）

生活福祉部 （ 計３事業 ） 3.4億円

・障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業（2.9）
・救護施設物価高騰対策支援事業補助金（0.05）
・生活困窮者緊急支援事業（0.4）

こども未来部 （ 計４事業 ） 10.4億円

・保育所等物価高騰対策支援事業（7.5）
・子育て・若者世帯食支援活動等応援事業（1.5）
・こどもの居場所物価高騰対策事業（1.4）　　等

保健医療部 （ 計14事業 （※うち４事業は二重計上事業）） 18.2億円

・水道用水供給事業者支援事業（8.3）
・介護事業所等省エネ設備導入緊急支援事業（2.3）
・働き盛り世代ヘルシー食生活支援事業（0.8）　　等

農林水産部 （ 計19事業 ） 28.5億円

・配合飼料価格差補助緊急対策事業（12.4）
・漁業用燃油緊急支援事業（2.9）
・優良繁殖雌牛導入支援事業（2.7）　　等

商工労働部 （ 計14事業 ） 63.7億円

・賃上げ・生産性向上緊急支援事業（19.9）
・県単融資事業（18.8）
・県単融資事業（中小企業セーフティネット資金）（9.9）　　等

文化観光スポーツ部 （ 計10事業 （※うち１事業は二重計上事業）） 10.6億円

・競技力維持・向上対策事業（2.3）
・ラーケーション推進事業（1.9）
・観光事業者収益力向上サポート事業（1.6）　　等

教育庁 （ 計９事業（※うち１事業は二重計上事業）） 8億円

・県立学校施設省エネ推進事業（2.0）
・学校給食米価高騰対策支援事業（1.6）
・学校給食費負担軽減事業（1.3）　　等

企業局 （ 計１事業 ） 0.7億円

・企業局施設運転管理者等緊急支援事業（0.7）

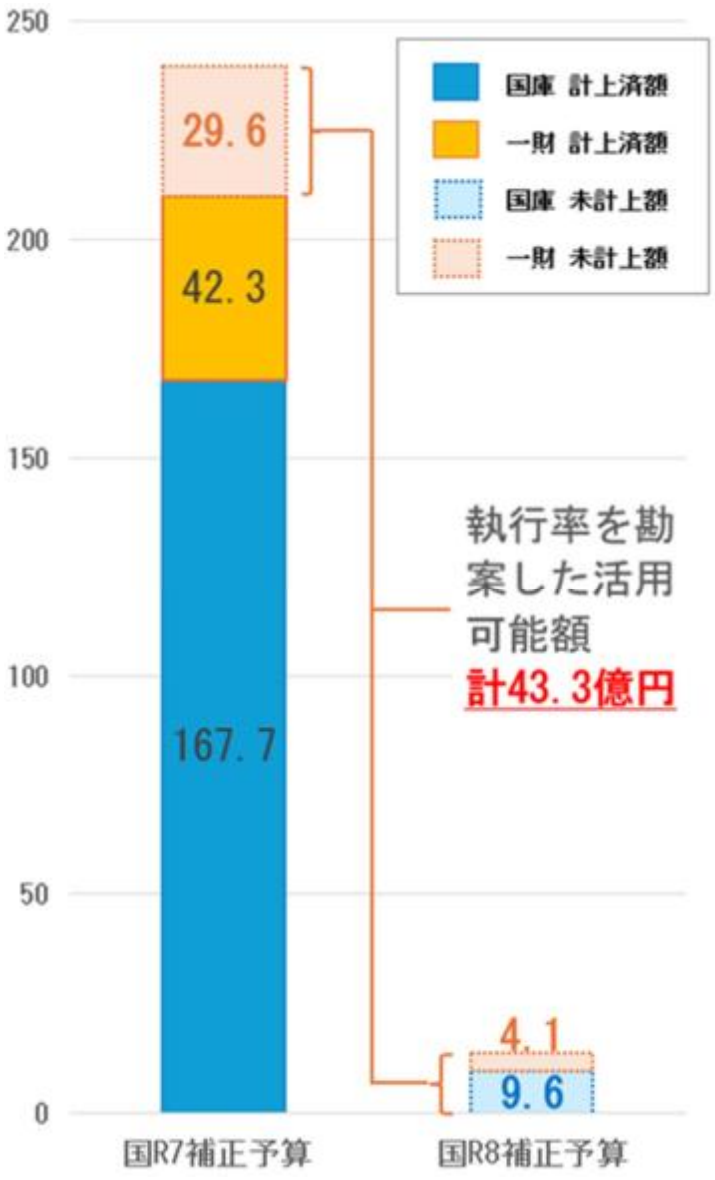
※（該当無し）知事公室、土木建築部

➢ 県予算の状況

最終的な事業の執行率を７割程度とした場合、交付金の不用額圧縮のため、県予算上は一般財源を併せて措置する必要がある。

現時点における県予算の措置状況は以下のとおり。

国のＲ７年度補正分	合計　239.6 億円	
	うち国庫　167.7 億円（７割）	
	うち一財　71.9 億円（３割）	⇒うち未計上額　29.6 億円
国のＲ８年度補正分	合計　13.7 億円	
	うち国庫　9.6 億円（７割）	⇒全額未計上
	うち一財　4.1 億円（３割）	⇒全額未計上



意見交換事項等

所管部局：企画部

件名	協力型バスレーン（ゆずり愛バスレーン）の実証実験について
内容	【経緯・現状】 県では、過度なマイカー依存から脱却し、交通の効率化を図るため、公共交通ネットワークの階層化・再編に取り組むこととしている。 特に、那覇－宜野湾－沖縄などの都市拠点間を結ぶ幹線交通は、移動需要を集約し、高速・大容量・高頻度で運行する強力な公共交通システムとして、本島交通の骨格を担う重要な役割を担っている。 令和８年 11 月から、幹線交通の強化のため、基幹バス区間である那覇市久茂地から沖縄市胡屋、宜野湾市伊佐から北谷町桑江までの２区間で協力型バスレーンの実証実験を予定している。 【協力型バスレーンとは】 協力型バスレーン（ゆずり愛バスレーン）とは、一般車両ご利用の方に、バスの走行の妨げとならないよう、できるだけバスレーンを走行しないようにしたり、後ろからバスが来たら通行を譲っていただくもの。 「協力型バスレーン（ゆずり愛バスレーン）」は交通規制を伴うものではなく、県民等の理解と協力が何より不可欠であり、各部局において下記についてのご協力をお願いしたい。 ①県民や職員への周知（出先機関等においてポスターやチラシを配布するなど） ②公用車を利用する際のゆずり合いの実施 ③時差出勤や公共交通の利用促進の実施 【今後のスケジュール】 ①特設サイト等による周知・広報開始（令和８年８月３日～） ②実証実験の実施（令和８年 11 月２日～令和９年３月 31 日） ③令和９年度も継続実施予定

2-3 協力型バスレーン実証実験（案）の概要

協力型バスレーン実証実験のねらい、沿線需要やサービス水準の状況等を踏まえ、協力型バスレーン実証実験（案）の概要は以下の通り整理した。

実証実験計画（案）　※協力型バスレーン実証実験は既存バスレーンに加えて実施

	内　　容
区間	**那覇市（久茂地）～沖縄市（胡屋）** **宜野湾市（伊佐）～北谷町（桑江）** ※既存バスレーン不連続区間は除く ※バスが片側１車線走行区間は除く
方向・車線	**上下両方向の第１車線**（既存車線内で実施）
時間帯	**平日の終日（6:00～22:00）** ※既存バスレーン区間では、規制時間以外を対象 ※既存バスレーンの運用は従来通り
実施期間	**R8年11月（11/2)～R9年3月末（3/31）** ※Ｒ９年度も継続実施予定。安全上の重大な影響等により、必要と判断した場合は、実験を中断・見直す場合がある。
その他	• 路面標示は当面現状のまま • 協力・お願いの対象は、バス・二輪車・タクシー以外（既存バスレーン区間と同様） • 協力・お願いの対象車線は第１車線のみ（バス・二輪車・タクシーは第１車線以外の通行を妨げるものではない）
周知・広報計画	• 広く県民等を対象（WEBサイト、ポスター・チラシ、TV・ラジオCM、オンライン広告、市町村広報誌等） • 主に自動車利用者を対象（歩道橋横断幕、企業団体への協力依頼、バスマスク、バスレーンサポーター等） • 観光客を対象（外国人、レンタカー利用者等）
効果検証	• バスの走行性改善（旅行速度、定時性） • 道路交通への影響（交通量、旅行速度） • バス利用者、自動車利用者、バス事業者（運転手）等の評価（アンケート等）　等

伊佐～胡屋の車線運用イメージ



那覇～伊佐～桑江の車線運用イメージ
（浦添拡幅区間は８車線）



※協力型バスレーンは、一般車両ご利用の方に、バスの走行の妨げとならないよう、できるだけバスレーンを走行しないようにしたり、後ろからバスが来たら通行を譲っていただくもの（規制を伴わない協力・お願いベース）

沖縄県　わった～バス党

バスさん

どうぞ、お先に。

そのバスには、

たくさんの『ありがとう！』が乗っている。

本当に嬉しいです！
ありがとうございます！
助かります！
Thank you ！
感 謝 ！
譲ってくれてありがとう！
嬉しい！
ありがとうございます！
助かります
サンキュー
感謝します！
よかった！
ありがとう！
本当にありがとう！
今度は、バスで行こう！
たまには、バスもいいね！

ゆずり愛バスレーン

令和8年 11/2 ▶ 令和9年 3/31

路線バス優先に、ご協力ください。

そして、あなたのお出かけにも、路線バスを

後ろからバスが来た時は、無理のない範囲で道をゆずる「ゆずり愛」に、ご協力をお願いします。
みんなの思いやりが、定時運行を支え、バスをもっと使いやすくすることにつながります。
路線バスを選ぶ人が増えるほど、沖縄の移動はもっとスムーズに。

バスをゆずる思いやりが、この島の未来の笑顔につながります。



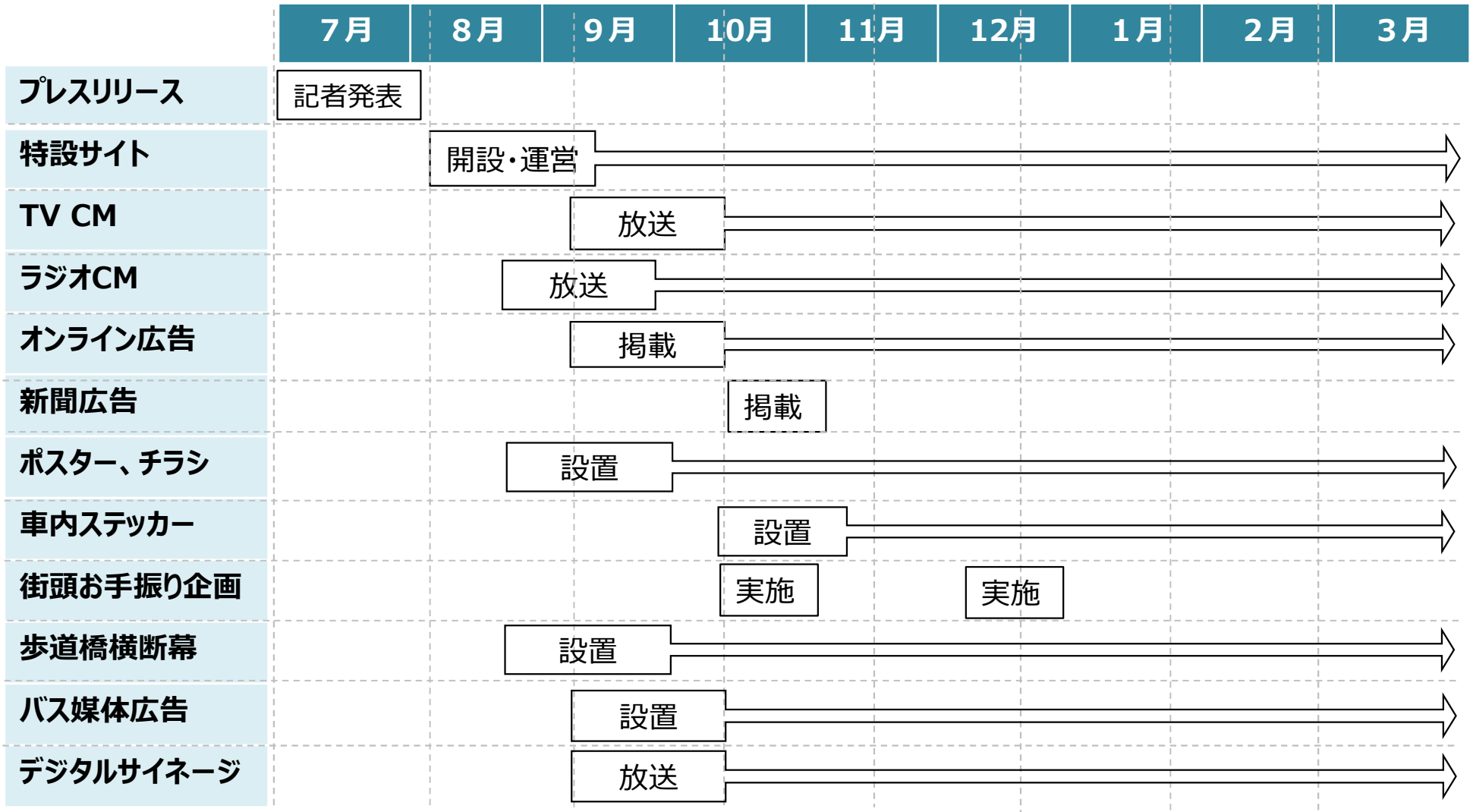
詳しくは、HPをご覧ください。

区 間 ： 那覇市（久茂地）～ 沖縄市（胡屋） | 宜野湾市（伊佐）～ 北谷町（桑江）

時間：平日6:00-22:00　車線：歩道側車線（第1車線）※既存バスレーンの運用は従来通り　※バスが片側1車線走行区間は除く

2-8 協力型バスレーン実証実験の広報スケジュール

７月の記者発表（プレスリリース）を皮切りに、順次各種広報を展開し、県民及び観光客へ周知していく。



意見交換事項等

所管部局：農林水産部

件名	会議で県産牛乳消費促進キャンペーン【第２弾】 ～ 会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう～ （学校休止期間における県産牛乳消費拡大）
内容	【経緯・目的】 ● 本県における酪農経営は、県内で消費される生乳の約８割を供給している。 ● 県内で生産される生乳のうち、約３割に相当する量が学校給食用牛乳として消費されているが、学校休止期間に需給調整が必要になることが課題となっている。 ● そこで、「沖縄県酪農農業協同組合」と「公益財団法人　沖縄県畜産振興公社」と連携し、学校休止期間に県庁内で開催される会議の飲料として県産牛乳を活用することで、県産牛乳消費拡大に取り組む。 【県の対応等】 会議で県産牛乳消費促進キャンペーン【第２弾】 ～ 会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう～ ● 期間：令和８年８月３日（月）～８月 21 日（金） ● 対象：県庁内で開催される会議 ● 提供牛乳：県産牛乳 180ml（明治、森永） （１日あたり提供可能本数　50 パック程度） ● セブン-イレブン沖縄県庁店（地下１階）で牛乳を受け取り（代金不要） ● 会議終了後、会議参加者名簿と牛乳に係るアンケートを提出（アンケートについては Google フォームにてスマホ等で回答） 【その他】 ● 株式会社セブン-イレブン・沖縄は、学校休止期間の牛乳を利用した新商品（パン及びスイーツ）を開発し、８月３日週に県内各店舗において数量限定で発売。併せて、飲用牛乳（946ml）を８月４日～11 日にキャンペーン価格で販売。 ● 県民ホールで、８月 10 日～21 日に県産牛乳に関する展示を行う予定。

会議で県産牛乳消費促進キャンペーン
～　会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう　～

第2弾



目　的

　学校休止期間（夏休み）に、県民の皆様に県産牛乳の消費を促すため、会議の飲料として県産牛乳を提供する。
　県産牛乳を飲む機会を増やすことで、県産牛乳の良さを知っていただき、家庭での消費につなげる。



期　間

令和８年８月３日（月）
～８月21日（金）

対　象

沖縄県庁で開催される会議

提供牛乳

県産牛乳（180ml）明治、森永
（１日あたり提供可能本数　50パック）

利用の流れ

1　申込　畜産課へ**会議日の前週の水曜日**までに使用日、数量を申し込み。

2　受取　会議当日に**セブン-イレブン（沖縄県庁店：地下1階）**で受取。
※牛乳代金は発生しません。
※レシートの受取。

3　利用
- 会議での利用。（お持ち帰りも可）
- アンケートの実施
※Googleフォームにて回答

4　報告　畜産課へ以下の２点を提出。
①会議参加者名簿
②レシート

共催：沖縄県酪農農業協同組合
協力：公益財団法人沖縄県畜産振興公社

会議で県産牛乳消費促進キャンペーン

～　会議の合間にカルシウム補給！モ～っといい会議にしよう　～

申込スケジュール

畜産課へ**会議日の前の週の水曜日**までに使用日、数量を申し込み。

会議開催日	申込締切日
８月３日（月） ～８月７日（金）	７月29日（水）まで
８月10日（月） ～８月14日（金）	８月５日（水）まで
８月17日（月） ～８月21日（金）	８月12日（水）まで

【問合せ先】
農林水産部畜産課
畜産政策班　金城（IP:3053）
Mail：kinjoksk@pref.okinawa.lg.jp



意見交換事項等

所管部局：商工労働部

件名	人手不足対策支援サイト「OASiS（オアシス）」の公開と継続的な情報更新について
内容	【経緯・現状】 1．　県内の様々な産業分野において人手不足が顕在化する中、商工労働部では、知事や経済、労働団体の長を構成員とする「雇用対策推進協議会」を設置し、その解消に向けて、各部局や関係団体の人手不足対策をとりまとめた「人手不足対策アクションプラン（R6.9 月）」を策定・推進している。 2．　今年度は、人手不足対策支援サイト「OASiS」（オアシス）を構築し、同プランに基づく人手不足対策（244 事業）や、それを活用した企業の好事例（294 事例）を掲載して、人手不足に課題を抱える県内企業が自社に最適な支援をネットで簡単に検索できるよう取り組んでいる。 3．　また、県 HP や関係団体が運営するサイトにリンクを張るなどして、周知広報を図っている。 4．　OASiS 掲載の情報は、各部局の事業担当者において、管理画面から随時、登録・更新できるシステム構成としている。 【今後の対応】 1．　関係部局の皆さまには、各分野における関係団体や企業等から、人手不足に対する相談等がある際には、OASiS の活用について周知をお願いしたい。 2．　また、OASiS を企業にとってより身近で価値のあるプラットフォームとして機能させるため、所管する取組について、積極的かつ継続的な情報更新をお願いしたい。 **【参考】R8年度掲載事業（244 事業）** **＜県の各部局＞** • **商工労働部**：42 件（雇用政策課 20 件、労働政策課 10 件、IT イノベーション推進課 7 件、中小企業支援課 3 件、ものづくり振興課 1 件、工業技術センター1 件） • **保健医療介護部**：22 件（保健医療総務課 11 件、高齢者介護課 10 件、地域包括ケア推進課 1 件） • **農林水産部**：13 件（営農支援課 5 件、森林管理課 2 件、流通・加工推進課 2 件、畜産課 2 件、村づくり計画課 1 件、糖業農産課 1 件） • **こども未来部**：12 件（子育て支援課 10 件、女性力・ダイバーシティ推進課 2 件） • **文化観光スポーツ部**：6 件（観光振興課 6 件） • **生活福祉部**：3 件（福祉政策課 3 件） • **企画部**：2 件（交通政策課 2 件）※ • **土木建築部**：2 件（技術・建設業課 2 件） • **教育委員会**：2 件（義務教育課 1 件、県立学校教育課 1 件） **＜他団体＞** • **沖縄労働局**:31 件、**沖縄総合事務局**:26 件、**沖縄県社会福祉協議会**:15 件 **沖縄県建設業協会**:10 件、**高齢・障害・求職者雇用支援機構**:8 件、 **沖縄県工業連合会**:7 件、**沖縄県経営者協会**:6 件、**琉球大学**：6 件　等

OASiS
オアシス
～ 人手不足の支援情報を発信中 ～

支援事業数 244 件

事例・実績紹介 294 件

自社に最適な支援事業が見つかる

労働力の確保・定着 | 人材育成 | 生産性向上

人材確保に課題を抱える企業様を対象に、
各種支援策や事例・実績など
支援事業に関する情報を幅広くご紹介しております。
人手不足への取り組みにぜひご活用ください。

支援事業

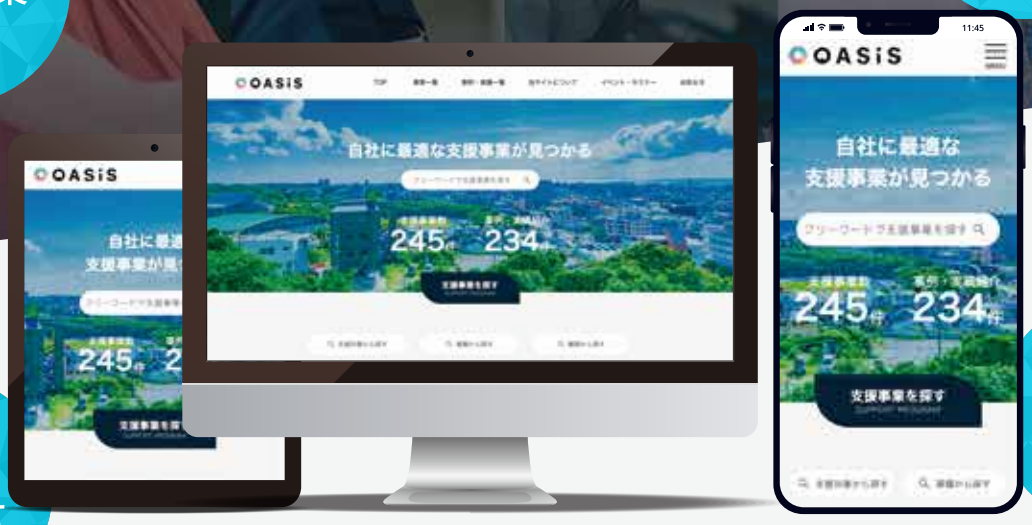
イベント
セミナー
情報

事例・実績

インタビュー
記事

最新の
お知らせ

コラム



※掲載している各種件数は作成時点のものであり、ウェブサイトの更新により変動します。

沖縄県 Okinawa Prefecture
沖縄県商工労働部雇用政策課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階(南側)
TEL：098-866-2324 FAX：098-866-2349

OASiS
人手不足の支援情報を発信中
https://www.oasis-search.com/



人手不足の支援情報を、もっと探しやすく

自社に最適な支援事業見つかります

OASiS

OASiSは、沖縄県内の事業者が人手不足に活用できる補助金・助成金・支援情報を探しやすくする検索サイトです。「どんな制度が使えるかわからない」「情報が多くて探しづらい」といった悩みの解決をサポートします。

こんなお悩みはありませんか？

- 自社で使える補助金・助成金がわからない
- 情報が分散していて探すのに時間がかかる
- 人材採用や定着に使える支援策を知りたい
- 設備導入や業務改善の支援制度を探したい
- セミナー情報や活用事例もあわせて知りたい



そんなお悩み
まとめて解決！



支援事業を探す

人材確保・定着、人材育成、生産性向上など、課題に応じた支援制度を探せます。
制度の概要や対象条件を確認しながら、自社に合う支援策を見つけるきっかけになります。



事例・実績を知る

実際の支援事例や実績を確認することで、制度活用後のイメージを持ちやすくなります。
「どんな企業が、どのように活用したのか」を知ることで、申請や活用の第一歩につながります。



イベント・セミナー情報をチェック

補助金や助成金に関する説明会、活用セミナー、相談会などの情報を確認できます。制度を探すだけでなく、理解を深めたり相談先を見つけたりする機会にもつながります。



最新のお知らせを確認

募集開始、締切、制度変更などの最新情報をチェックできます。気になる支援策を見逃さず、タイミングよく活用を検討しやすくなります。

沖縄県 Okinawa Prefecture
沖縄県商工労働部雇用政策課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟8階(南側)
TEL：098-866-2324　FAX：098-866-2349

OASiS
人手不足の支援情報を発信中
https://www.oasis-search.com/

意見交換事項等

所管部局：文化観光スポーツ部

件名	第３回沖縄空手世界大会の開催について
内容	【目的】 世界中の沖縄空手の愛好家が「空手発祥の地・沖縄」に集結し交流を深める場を創出するとともに、沖縄空手の技や精神性を今後も正しく保存・継承し、沖縄空手の振興を図ることを目的に開催。 49 の国と地域から延べ約 3,000 名の空手愛好家が参加する４年に１度の祭典となる。 【概要】 １　大 会 名：第３回沖縄空手世界大会 ２　大会期間：７月 30 日（木）～８月２日（日） ３　場　　所：沖縄コンベンションセンター ４　主　　催：沖縄空手世界大会実行委員会、沖縄県、 （一社）沖縄伝統空手道振興会 【主なプログラム】 １　競技大会（７月 30 日～８月２日） ・7/30（首里・泊手系）、7/31（那覇手系、上地流）、8/1（古武道） 8/2（全部門：準決勝・決勝） ・県内予選通過者約 450 名、海外約 250 名、県外約 170 名、県内離島５名 （※令和８年１～２月開催の県内予選を含めると約 1,300 名） ２　沖縄空手セミナー（８月１日） ・沖縄空手の高段者から直接指導 ・申込状況：延べ約 500 名（うち海外約 300 名） ３　演武大会（８月２日）【新規取組】 ・今大会から一般の部を演武大会として初めて開催 ・申込状況：海外約 180 名、県外約 160 名、県内約 830 名、 延べ約 1,170 名が参加 ・演武大会には多数招待（約 160 名出席予定）

	（※主な招待者：沖縄担当大臣、知事、各部局長、県議会議員、市町村長、空手関係者など） （※招待者は、表彰式・閉会式、交流会にも招待） ４　表彰式・閉会式（８月２日） ・競技大会上位入賞者の表彰式と大会講評など ５　交流会（８月２日） ・国内外の大会参加者、空手関係者等の交流を深める ・選手、審判員、演武大会出場者、空手関係者、セミナー講師等約 900 名参加 ６　沖縄空手ウィーク（７月 28 日～８月３日）【新規取組】 ・沖縄コンベンションセンター、沖縄空手会館、首里城公園の３会場で実施 ・沖縄空手会館では、空手体験、演武鑑賞、瓦割り体験、ものづくり体験、スタンプラリー等が楽しめる。 ・県庁前（県民広場前）を起点に、本会場であるコンベンションセンターへ直行するルートと、沖縄空手会館や首里城公園を周遊できるルートの２系統の『無料シャトルバス』を運行



第3回 沖縄空手世界大会

The 3rd OKINAWA KARATE WORLD FESTIVAL DEMONSTRATION and TOURNAMENT 2026

2026.7.30THU-8.2SUN 沖縄コンベンションセンター Okinawa Convention Center

沖縄空手ウィーク OKINAWA KARATE WEEK

2026.7.28TUE-8.3MON 沖縄空手会館など Okinawa Karate Kaikan, Others

親子で楽しめる楽しい企画が盛りだくさん! Lots of Fun Activities for the Whole Family!



各会場をつなぐ無料シャトルバス運行!
Free shuttle buses are available to connect all venues!

県民広場前(県庁前)↔沖縄コンベンションセンター
Kenmin-hiroba (Kencho-mae) Okinawa Convention Center
↳ 沖縄空手会館 Okinawa Karate Kaikan ↔ 首里城公園 Shurijo Castle Park

大会情報やイベントなど詳しくはwebで確認してね
ホームページ
Check our website for more details!
Website

主催:沖縄空手世界大会実行委員会、沖縄県、(一社)沖縄伝統空手道振興会
Organizers:Okinawa Karate World Tournament Executive Committee, Okinawa Prefecture, Okinawa Dento Karatedo Shinkokai

意見交換事項等

所管部局：警察本部

件名	令和８年上半期中事件・事故発生状況について

内容

１　刑法犯認知件数　※暫定値

	認知件数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
令和8年6月末	5,911	53	707	3,478	637	96	940
令和7年6月末	4,996	56	530	3,107	502	106	695
令和7年	10,677	116	1,170	6,466	1164	217	1,544

○　前年同期比915件の増加、約６割を窃盗犯が占める。

２　薬物事犯の検挙人数　※暫定値

	検挙人員	覚醒剤	大麻	麻薬等	指定薬物
令和8年6月末	155(34)	12(4)	115(23)	15(3)	13(4)
令和7年6月末	88(24)	24(2)	59(20)	5(2)	0(0)
令和7年	248(65)	50(5)	178(54)	18(4)	2(2)

○　前年同期比67人増加、覚醒剤のみ減少。
○（　）内の数値は10代被疑者の数であり、前年同期比10人増加。

３　交通事故発生状況（件数・人数）　※確定値

	発生件数	うち飲酒絡	死亡事故件数	うち飲酒絡	死者数
令和8年6月末	1,187	37	19	3	20
令和7年6月末	1,190	23	18	1	18
令和7年	2,809	83	40	5	40

○　人身事故件数は、令和２年の大幅減少から昨年まで微増微減で推移している。

４　水難事故発生状況（件数・人数）　※暫定値

	発生件数	罹災者数	うち観光客	
			県外日本人	外国人
令和8年6月末	48件	70人	33人	13人
令和7年6月末	47件	54人	24人	5人
令　和　7　年	114件	135人	52人	17人

○　発生件数は、令和８年６月末現在48件（前年同期比＋１件）
○　令和７年中、罹災者に占める県民は約41%、観光客は約51%
○　罹災者に占める県外観光客は約39%、外国人観光客は約13%